チャレンジ ～挑戦～

信陵中学校　学校だより
令和　６年　６月１４日
第　３　号
文責：校長　青柳　茂宏

教育目標『 自 律 ・ 協 働 ・ 挑 戦 』

がんばりました！

自分を信じて「チャレンジ・挑戦！」

６月４日(火)から６日(木)、福島支部中体連総合大会が各会場にて開催されました。応援や観戦に活気が戻り、コロナ以前に近い形での大会となりました。各部の選手が目標に向かって一丸となり練習に熱心に取り組んできました。その結果、各種目ですばらしい活躍がみられました。

しかし、中には努力したにもかかわらず思うような結果や成果とならなかった生徒もいることと思います。そこで、このような大会に限らず、結果で判断されがちな場面で、保護者の皆様とお子さんで話をしてほしいことがあります。

○まずは、お子さんから普段の活動の様子などを聞いていただき、**「なりたい自分」**や、**「目標としているもの」**などの話を聞いてください。

○大会や活動後は、成績や結果にこだわらず、その**「取り組み」**や**「過程（プロセス）」**での努力した姿を、ぜひ認めてほめてあげてください。

○努力が必ずしも報われる訳ではありませんが、その努力を続けていくことで、成功する可能性が広がっていくことをぜひ教えてあげてください。

「努力は足し算、協力は掛け算」などと言われ、その意味として「努力」は、一つ一つ足していけるもの。足して積み上げたものは消えることはない。「天才とは１％のひらめきと９９％の努力」と言れるように、どんな成功者や天才と呼ばれる人たちも、日々の努力の積み重ねがあったということ。

今回の大会も含めた**「成功や失敗」**は、子供たちにとって新たな**「目標や挑戦」**に向けての、貴重な**「経験やエネルギー」**となっていきます。

６月１８日(火)・１９日(水)には各会場で中体連の県北大会が開催されます。今後も、様々な**「挑戦（チャレンジ）」**をしていくお子さんたちを見守り、励ましていっていただければと思います。

「豊かな体験活動の推進」

７月１日（月）から５日（金）まで２年生の職場体験活動が実施されます。数年間はコロナの影響もあり実施されませんでしたが、昨年度より再開されました。 今後の学校行事では、この職場体験活動や、文化祭などが予定されており、部活動も含めて、昨今、大切な力とされている**「非認知能力」**を身に付けられるよい機会として考えております。

～「非認知能力」の育成について～

学習テストや体力テストなどと違い数値で表せない能力のことを**「非認知能力」**と呼び、近い将来子ども達が迎える国際（グローバル）化やＡＩなどの技術革新による高度情報化社会などの予測困難な時代に必要とされ注目されている力です。

この能力は、大きく２つの力があり、

・「自分に関する力」自尊心、自己肯定感、自立心、自制心、自信など
・「人と関わる力（社会性）」協調性、共感する力、思いやり、社交性、道徳性など校外での体験活動や部活動などは、身体的、精神的な努力が必要とされ、非認知能力を培うために大変有効とされます。